

一 解答

- (一) 1 c 2 b 3 e
 (二) a ウ b イ c エ
 (三) ア 5 イ 3 ウ 4
 (四) a カ b オ c ア
 (五) 時間を忘れる
 (六) うちはどう
 (七) ① 自分の身を責めるように働く(姿)
 ② 人々を指揮し男より前に出て働く(姿)
 (八) 自分で持つことによって得られる本の感触や、好きな速さで読み進めることによって、話の中により深く入り、内容を共感することができるもの。
 (九) 後ろから見／男のいだだ
 (十) 母の動作の
 (十一) 入選した喜びだけでなく、自分の綴方に聞き入り共感している級友たちの様子が伝わってきたから。
 (十二) 普段はいがみ合っている祖母と母が、自分の新聞の記事について共に笑いあい喜んでいいるから。
 (十三) 恵まれた環境の中で育ち、本が大好きで自分の考えをきちんと持っている。又、周りの出来事や人間関係に敏感で、家族の幸せを大切に考えている少女。
 (十四) ① 得手 ② 仕える ③ 朗読 ④ 苦笑い

二

- a 自活能力 b ひとのいのち c 近代化 d 存在の値ぶみ
 e 無条件の肯定 f 受け身 g 引き受ける強さ h 自立

一 解説

(六) Bの後に、わが家についての記述があります。少し後にある「うちはどう」で始まる一文の内容から万亀のとまどう気持ちを讀みとることが出来ます。
 (十一) Gの前後にある内容をまとめます。自分が入選したことに對する晴れ晴れした気持ちと、級友たちが自分の朗読にじっと聞き入っている様子をまとめます。

二

- a 二段落目の「こうして暮らしやすい環境」以降の部分に、aを含む一文の内容が表されています。この部分から、なくしていることに該当するものを探すと「自活能力を一つ一つ失ってゆく過程でもある。」という記述がみつかり、適切な4字は「自活能力」になります。
 d・e 第三、四段落目にd・eを含む一文の内容が書かれています。なにごとにも資格が問われるような社会では「存在の値ぶみ」がされ、なんとも生きづらい社会であり、このように自分の存在が認められたり、認められなかったりするしくみの中で生きつづけていると、いわば「無条件の肯定」を求める様になります。と述べています。